

# 令和5年度 信濃教育会教育研究所 研究員募集案内



## 教育研究所での三つの学びと感動

新しい教育の実践者・研究者に学ぶ感動を！  
実践の「振り返り」と講師・同僚との「学び合い」から「納得」の感動を！  
学校では経験できない学びを広げていく感動を！

### 2年間の研究・参画活動とテーマについて

研究活動 《1年次研究員》	県教委の公募選考を経て入所。各自のテーマを所長・特任所員・部長の助言のもとに研究する。 テーマ研究会や現場実習を通して、研究を深め、実践への確かな見通しを持つ。
研究活動 《2年次研究員》	現場に戻り、日常の授業や教育活動を通して、実践臨床研究を深める。 また、互いに臨床研究の情報交換や多彩な講師等による指導・支援を通して、次代の教育の実践と研究の基盤をさらに培う。



研究  
・  
参画の場



### 主な研修内容

- 所長講義, 特任所員講義, 各種研修会, 読み合わせ等の研究会
- 各自のテーマに応じた視察研修, 研究大会等への参加
- 現場の授業実践に学ぶ協力校, 施設等での授業参観, 実践実習
- 所長, 特任所員による土曜公開講座の企画・運営
- 県内各地で研究内容の報告を行い現場への還元を図る

#### 第1テーマ

教師と子ども, 子ども相互の関係づくり

学級づくりの基本は, 子どもの個性を生かし, とともに生き, とともに学ぶ合う共同性を育てることであり, 教師と子ども, 子ども相互の学び合いの関係づくりと不可分である。新たな実践を拓く支援について考える。

▼関係づくりにかかわり, 情緒不安定, 発達障がいなどの視点や通常学級における配慮を要する児童生徒といった視点からも, 具体的な事例に即して支援を考える。

#### 第2テーマ

子どもの学びが深まる授業づくり

授業づくりを軸とする学校づくりは不易の課題である。子どもはどのように意欲を高め, 友と学びを深めていくかを, 子どもの具体的な姿や教師の指導・支援に即して考える。

▼各教科や総合的な学習の時間の授業づくりにかかわり, 主体的・対話的で深い学びを子ども理解, 素材研究, 教材化の研究といった視点やICTの活用といった視点から事例に即して考える。

#### 第3テーマ

今日的な課題に対応する多様な学び

子どもを取り巻く環境は日々変化し, 学校も今日的課題への主体的な対応が不可欠になっている。地域・学校の特色や社会の変化に応じた多様な豊かな学びをどのように創り出していくか考える。

▼異年齢による学び, 地域との連携, カリキュラムといった視点やオンラインを取り入れた授業の視点から事例に即して考える。



さあ, 教師として大きく成長してみませんか!

# 令和5年度 信濃教育会教育研究所 研究員募集要綱

## 1 目 的

本県教育振興の一方策として、県内教職員が信濃教育会教育研究所へ入所し、一定のテーマに従って研究する。

## 2 期 間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで（引き続き学校現場で2年次研究をする）

## 3 応募資格

- (1) 5年以上本県内の各種の公立学校に教諭として勤務し、現在引き続きその職にあること。
- (2) 研修後、本県教職員として教育振興のために貢献しようとする意思が強固なこと。
- (3) 所属学校長の推薦を得ていること。

## 4 研究テーマ

- 第1テーマ 教師と子ども，子ども相互の関係づくり  
第2テーマ 子どもの学びが深まる授業づくり  
第3テーマ 今日の課題に対応する多様な学び

## 5 募集人員

各テーマにつき、若干名とする。

## 6 研究員の決定

応募者の中から選考して令和5年2月までに、長野県教育委員会において決定する。

## 7 応募の方法及び期限

応募者は次の書類を令和4年10月18日（火）までに市町村教育委員会へ提出する。

（様式については、長野県教育委員会の示したものによる）

- (1) 研修派遣願（様式第1号）
- (2) 添付書類
  - ① 履歴書（様式第2号）  
（出身大学、学部、学科、専攻、卒業論文題目及び指導教授名等を明記。※写真添付）
  - ② 研究歴（様式第3号）
  - ③ 研究テーマについて（様式第4号）  
（「志望テーマと研究の窓口とする教科名領域名等」及び「研究内容」を第一志望、第二志望について各1000字以内で簡潔に記す）
  - ④ 校長の意見（推薦）書（様式自由）

## 8 出願書類の経由

- (1) 市町村立学校の教員の出願書類は校長、市町村教育委員会（学校組合教育委員会を含む）及び所轄の教育事務所長を経由し、義務教育課長へ提出する。
- (2) 県立学校の教員の出願書類は校長を経由して、主管課長へ提出する。

**入所にあたって** 研究所では自分の実践の具体を通して「振り返り」を行います。その際、自分の授業の単元・題材等を通したビデオ記録（子どもの発言、つぶやき、表情等のわかるもの）・学習カード・授業記録等の資料がもたされます。日々ごく普通に実践されているものでかまいません。共同研究の記録ではなく、自身の日常の授業の実践記録をご用意ください。